



学校だより 第16号

令和元年 12月2日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 明知

法務省 啓発活動 重点目標

みんなで築こう人権の世紀
～考えよう相手の気持ち
未来につなげよう
違いを認め合う心～

十二月四日から十日までは「人権週間」です
改めて「人権」の大切さを
考えてみましょう

校長 佐藤 浩

■人権とは、人間が、人間として、人間らしく生きる権利

世界人権宣言が昭和二十三年十二月十日の国際連合総会で採択されたことを記念して、毎年十二月四日から十日までは「人権週間」に、そして、十日は「人権デー」に定められています。人権とは、人間が、人間として、人間らしく生きる権利であり、誰もが生まれながらにもっている、幸せに生きるための基本的な権利です。

■生徒一人一人が大切にされていると実感できる学校にしていきたい

二十一世紀は人権の世紀だといわれていますが、はたして今、人権が守られる社会になっているでしょうか。社会や学校、家庭で周りの人達と関わりをもち、思いやりの心で、尊重し合っているでしょうか。生徒の皆さんにとって一番身近な存在である友達との関係はどうでしょうか。

誰もが「大切にされたい。大切にしたい。大切にしたい。皆と仲良く楽しい学校生活を送りたい。」と願っています。そんな学校にしよう。と、生徒の皆さんには一層の心配りを行って欲しいと思います。この機会に改めて、生徒一人一人の基本的な権利が守られているのか、また、友達をはじめ全ての人達を大切にすることができているのか、見つめ直してみよう。

人権を尊重し大切にするには、相手の立場に自分を置き換えて考え、悩みや苦しみ、悲しみや願いを理解し、一歩でも近づこうとが必要です。生徒一人一人が大切にされていると実感できる学校に、誰もが安心して通える学校にしていきたい。

全国中学生人権作文コンテストで「奨励賞」を受賞！

令和元年 11月24日(日)千代田区九段にある東京法務局の大講堂において、令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会表彰式が行われました。本校では、3年Aさんが全国の中学校の多数の応募の中から見事「奨励賞」を受賞しました。表彰状と記念品をいただきました。おめでとうございます。



「中学生税についての作文」で新宿西戸山中学校の生徒7名が各種の賞を獲得！

令和元年 11月 26日（火）戸塚地域センターにおいて、令和元年度「税についての作文」表彰式が行われました。本校では、3年Bさんが東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を筆頭に、3年Cさん、3年Dさん、3年Eさん、3年Fさん、3年Gさん、3年Hさんが各種の賞を受賞しました。

表彰式には6名が出席し、表彰状と記念品をいただきました。東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞したBさんは、受賞作品「いつも暮らしのそこにある」を朗読しました。新宿西戸山中学校から7名もの受賞者が選出されたということはうれしい限りであり、こうした生徒たちの頑張りを誇りに思います。本当におめでとうございます。



<賞・受賞者・作品>

○東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞	3年A組	B	「いつも暮らしのそこにある」
○新宿税務署長賞	3年A組	C	「税とは贅沢」
○新宿都税事務所長賞	3年B組	D	「税に支えられている自分」
○新宿区長賞	3年A組	E	「暮らしを支える税金」
○新宿納税貯蓄組合連合会会長賞	3年D組	F	「国民の味方「税」」
○公益社団法人新宿法人会会長賞	3年D組	G	「「普段の生活」と「税」」
○新宿納税貯蓄組合連合会佳作	3年A組	H	「税金を払うということ」

オリンピック・パラリンピックをテーマに図書委員会がビブリオバトルを開催！

11月21日・22日の昼休み、図書館において、図書委員会主催のビブリオバトルが開催されました。今回のテーマはオリンピック・パラリンピックです。このビブリオバトルは、

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、生徒会を中心とする生徒たちが主体的に考えて企画・運営するボランティア活動や、地域行事への参加などの社会参画を推進することで、全生徒の東京2020大会に向けた気運及びボランティア意識の醸成を図る。

ことを目的として、生徒会が企画した取組の一つです。

両日も2組ずつ合計4組が参加し、新宿区教育委員会からいただいたオリンピック・パラリンピックTシャツを身に付け、熱いバトルを繰り広げました。

2年Iさん・Jさんチームは「少年ジャンプ勝利学～金メダルに必要なことはみんなマンガから教わった」、2年Kさん・Lさんチームは「翼がなくても」、2年Mさん・Nさんチームは「心にのこるオリンピック・パラリンピックの読みもの、夢に向かってチャレンジ!」、1年Oさん・Pさんチームは「オリンピック裏話 あなたもこれで五輪雑学」を紹介しました。いずれも面白そうな内容であり会場に集まった生徒は興味深く聞いていました。両日ともに接戦の末、次の2つがチャンプ本に選ばれました。



- <21日> 2年Kさん・Lさんチーム
「翼がなくても」(中山七里 著)
- <22日> 2年Mさん・Nさんチーム
「心にのこるオリンピック・パラリンピックの読みもの、夢に向かってチャレンジ!」
(伊藤公 著)

